



B群溶連菌(GBS)は産道における母子垂直感染によって新生児に発症し、早期に発症する細菌感染症の中で、最も多い原因菌といわれています。発症した場合、重症化する例も多く、死亡例も報告されています。GBSの母体の保菌率は膈内で2〜25%といわれ、保菌した妊婦から出生した新生児の50〜70%に感染が認められるようですが、実際に発症する例は1〜2%です。母体でつくられた抗体が胎盤を通過して胎児に移行し、発症を防いでいるからだと考えられています。

市民病院では、妊婦健診に通院中のすべての方に妊娠26週頃と36週頃の2回、膈内のGBS検査を行って

妊娠中のB群溶連菌による母子感染

蒲郡市民病院 産婦人科医長 ◆ 大橋正宏



います。検査方法は膈鏡を用い、綿棒にて数回擦過するだけの簡単なものです。検査の結果は1週間後に判明し、外来でお伝えします。もし陽性の場合、分娩目的で入院された時に抗生物質を点滴で投与しています。これは、あまり早い時期に投与しても、一時的に菌が陰性にはなるものの、その後、再発陽性になる例が多いと報告されているからです。この予防投与により感染率を47%から10%に減少させる効果があるといわれています。しかし、100%感染を抑えるということではないので、GBS陽性の妊婦さんが分娩する場合、新生児に対しては小児科と協力して、注意深く観察する必要があります。



介護保険サービスには、福祉用具の貸与・購入サービスがあり、いずれも1割負担で利用できます。

【福祉用具の貸与】

次の福祉用具を借りることができます。

- ①車いす
- ②特殊寝台(ベッド)
- ③じょくそう予防用具
- ④体位変換器
- ⑤手すり・スロープ
- ⑥歩行器・歩行補助づえ
- ⑦痴ほう性老人徘徊感知機器
- ⑧移動用リフト(つり具部分を除く)

【福祉用具の購入】

次の物を購入した場合、総額で10万円を限度として、その9割が支給されます。

- ①腰掛け便座

問合先 長寿課 ☎66・1176

介護保険サービス (在宅サービス②)

- ②特殊尿器
 - ③入浴補助用具
 - ④簡易浴槽
 - ⑤移動用リフトのつり具部分
- これらのサービスを受ける場合は、ケアマネジャーや長寿課に相談ください。

◎福祉用具の適切な利用を

福祉用具利用者の中には、介護状態が軽い方も「あつたら楽」「どうせ1割だから」と、安易に車いすや特殊寝台をケアマネジャーへ要望される方がいます。

安易な車いすの利用は、要介護状態の悪化への引き金となり、下肢機能の衰えを助長するばかりです。また、一般ベッドの代用として特殊寝台の使用に慣れてしまうと、全身の機能を低下させるばかりでなく、気力の喪失など精神的にも悪影響を及ぼし、寝たきりへの道を加速させることとなります。本当に何が自分のためになるか考えサービスを選びましょう。